

|               |  |      |      |        |           |
|---------------|--|------|------|--------|-----------|
| 科目名           | 臨床心理学概論  |      | 担当教員 | 後藤 綾文  |           |
| 単位            | 2単位  | 講義区分 |      | ナンバリング | ED1SPS102 |
| 期待される学修成果     | 基礎教養 自己形成  |      |      |        |           |
| アクティブラーニングの要素 | ディスカッション、ディベート   |      |      |        |           |
| 実務経験          | 臨床心理士、公認心理師  |      |      |        |           |
| 実務経験を生かした授業内容 | スクールカウンセラー、精神科病院などでの勤務の経験を活かし、臨床心理学的視点を持つことの意義について講義する。  |      |      |        |           |
| 到達目標及びテーマ     | 臨床心理学の成り立ちと、臨床心理学の代表的な理論を理解することが到達目標である。以下の4つの観点を中心とする。(1)クライアント(来談者)中心という相談者の立場と態度について学ぶ。(2)自己実現のための支援という相談の狙いと意味について学ぶ。(3)正しい対象理解という支援の基本を実践するための必要な視点の置き方について学ぶ。(4)支援者としての自分自身を見直すことの必要性について学ぶ。 |      |      |        |           |
| 授業の概要         | 学問としての臨床心理学は心理学を基盤とする応用の学であるが、その一方、心理臨床という実践の場で生まれて洗練されてきた「臨床の知」の体系という側面を併せ持っている。この授業では以下のように大きく3つの主題に分けて、この学問のアウトラインについて理解をはかる。(1)臨床心理学の歩みとその成り立ち(2)臨床心理学の諸理論と実践(3)臨床心理学と心理臨床学の基本精神               |      |      |        |           |

|      |                                 |
|------|---------------------------------|
| 授業計画 |                                 |
| 第1回  | オリエンテーション                       |
| 第2回  | 精神分析学と力動的心理療法の成り立ち              |
| 第3回  | 行動理論と行動療法の成り立ち                  |
| 第4回  | 人間性心理学と人間中心アプローチの成り立ち           |
| 第5回  | 認知理論と認知行動療法の成り立ち                |
| 第6回  | 心理療法の諸理論の成り立ち                   |
| 第7回  | 心理的アセスメントの成り立ち                  |
| 第8回  | 臨床心理学の基本的概念                     |
| 第9回  | アセスメントの理論と技法(1)面接法              |
| 第10回 | アセスメントの理論と技法(2)知能検査・発達検査・認知機能検査 |
| 第11回 | アセスメントの理論と技法(3)性格検査             |
| 第12回 | 障害の心理学的メカニズムの理解                 |
| 第13回 | 心理療法の理論                         |
| 第14回 | 心理療法の折衷と技法選択、効果のエビデンス           |
| 第15回 | まとめ                             |

|            |   |                                |
|------------|---|--------------------------------|
| 事前学修       | 2時間   | 資料を精読してくること。                   |
| 事後学修       | 2時間   | 小課題を課すので、講義内容を復習しながら課題に取り組むこと。 |
| フィードバックの方法 | 随時、グループ発表や課題、試験に対して希望があれば個別に口頭でのフィードバックの機会を設ける。 |                                |

| 成績評価方法        | 割合(%) | 評価基準等         |
|---------------|-------|---------------|
| 定期試験          | 80%   | 知識ならびに理解力     |
| 上記以外の試験・平常点評価 | 20%   | 毎回の課題に対する取り組み |
| 補足事項          |       |               |

| 教科書  |               |     |      |    |
|------|---------------|-----|------|----|
| 書名   | 著者            | 出版社 | ISBN | 備考 |
| なし   | なし            | なし  | なし   | なし |
| 参考資料 | 必要に応じて適宜紹介する。 |     |      |    |